

特選

ゆるやかに老いゆくりなく梅日和 多摩市 石月由多加

評 老いてからあたたかも梅日和に会えた嬉しさ。

石の間の流れに浮ぶ梅の花 川崎市 中村きよみ

評 曲折を作りつつ流れを流れる梅の花の楽しさ。

紅梅の散るあたりより溶ける雪 八王子市 中村征子

評 幹の芯まで赤いから情熱が雪を早く溶かします。

梅真白うす紅の蕾より 府中市 寺島 宏

評 白梅も蕾はうす紅で開くと真白になる面白さ。

老い上手七十路八十路の紅白梅 府中市 今井貴久子

評 長生きで色々あるのを紅白梅で表す表現は巧み。

佳作

うめの花ひらひらちるやうめの雨 武蔵野市 堀江美喜

見あぐれば空の中まで梅林 府中市 横尾美知子

行在所その塀越しの梅を愛づ 狭山市 古谷彰宏

戸障子の影もなつかし梅日和 清瀬市 林 正躬

白梅や藁屋根匂ふ長屋門 相模原市 小島和子

梅の香に誘はれるままひと回り 多摩市 桜井美保子

ふるさとを思つて歩く梅のみち 府中市 高汐照枝

皆知らぬ夜の香りを梅に問ふ 府中市 前原直子

観梅に皆にこやかに車椅子 八王子市 岸野美知子

梅の香はマスクの上でもいいにほひ 府中市 柿木萌寧

(敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い)

「市村究一郎」 昭和二年東京生まれ。水原秋櫻子に師事。「馬酔木」編集同人を経て

「カリヨン」創刊主宰。俳人協会評議員。